

J217b 特異な新星 MAXI J0158-744 の形成過程について

衣川 智弥 (京大) 森井 幹雄 (理研)

全天X線監視装置「MAXI」によって、2011年11月11日、軟X線突発天体 MAXI J0158-744 が発見された。この天体はSwift衛星と可視光追観測によって新星爆発であることがわかっている。可視光対応天体は重い( $\sim 10M_{\odot}$ )Be星であり、非常に珍しいWD-Be連星であることが分かった (Li et al. 2012, ApJ, 761, 99; Morii et al. 2013, ApJ, 779, 118)。WD-Be連星は連星相互作用による質量交換によってできると考えられていたが、先行研究では軽いBe星( $< 10M_{\odot}$ )について注目しており (Raguzova, 2001, A&A, 367, 848)、今回のような非常に重いWD-Be連星については形成過程があまりわかっていなかった。本研究では、このような特異なWD-Be星の形成過程について連星進化計算を行った。